

平成19年度 事務事業評価表	担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	観光ビジョン策定事業		事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）
根拠法令等			Eなし	

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	市民、各種産業界及び行政が
手 段	観光新時代に対応できる魅力ある観光交流都市「蒲郡」の指針をすることにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
観光ビジョン事業負担金	10,000,000円	10,000,000円	9,000,000円
委員会開催数	5回	8回	10回
交流ウィーク集客	181,011人	192,014人	200,000人
観光客入込数	7,140,172人	7,146,079人	7,300,000人

成果指標

成果指標名	観光客一人当たりの事業費	交流ウィーク参加者一人当たりの事業費
成果指標の説明	観光ビジョン事業負担金 / 交流ウィーク集客	観光ビジョン事業負担金 / 観光客入込数

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		55.25円				52.08円				45.00円			
成果指標		1.40円				1.40円				1.23円			
事業費	事業費	10,000				10,000				9,000			
	人件費	3,892				3,905				3,923			
	(人数)	正規	0.5	非常勤	0.0	正規	0.5	非常勤	0.0	正規	0.5	非常勤	0.0
	合計	13,892				13,905				12,923			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	13,892				13,905				12,923			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	市民への認知向上と観光客への情報発信につとめることができた。
経済効率性	2	2	2	2	主要事業を委員会を中心に平行して進めていくことで効率はよい。
事務効率性	2	2	2	2	職員が資料等を準備し、委員会で各事業を検討実施している。
必要性	3	3	3	3	観光交流立市がまごおりにとって観光の基本計画ともいえるビジョンをもって事業を推進していくことは重要である。
小計	9	9	9	9	
施策への貢献度	3	2	2	3	観光振興策の基本施策がしめされることで各観光振興事業の実施に一定のルールが作られる。
合計	12	11	11	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	万博後の蒲郡の観光を見据え、観光蒲郡の再生に取り組んだことは観光振興施策として成果をあげた。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
今後アクションプランの検討に入っていきたい。
上記改善点の実施状況
市民参加型の観光交流ウィークの実施や観光交流立市の設定、マリンアンチエイジングの事業化、シンボルマークを配したピンバッジあるいは名刺台紙の作成、南駅前50メートル道路の街路灯への観光フラッグの設置、愛知工科大学や海陽学園に入学、保護者にパンフレット等を配ってのPR、街並みドレッシング事業としてのイルミネーション補助事業などを行った。

今後さらに改善すべき点

今後も、市民、地元産業界、行政が一体となって観光に取り組んでいく。

平成21年度予算に反映する項目

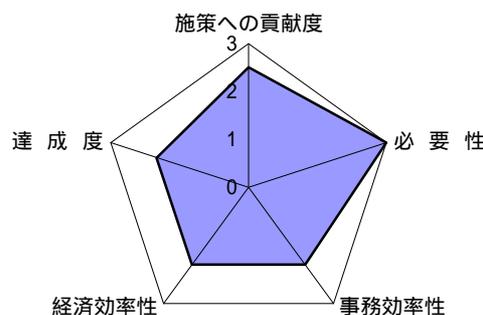
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点